

2013年

消費者大会は、年1回開催され、県民の皆さんの学習・交流の場です。どなたでも参加できます。

岩手県消費者大会

明確な視点で本質をお話くださる、和光大学教授竹信三恵子先生来盛!

参加
無料

10月29日(火) 10:30~15:00 サンビル7階

[※お弁当を用意します(¥500)。個人参加の場合は予約が必要です。団体からの参加は事前に取りまとめます。]

◆午前:分科会 10:30~12:30 6つの分科会から興味があるところへご参加ください。

1	TPP問題を考える	農業だけじゃない!TPPで変わってしまう私たちの暮らし	4	子どもや若者の貧困問題を考える	格差社会の中で広がる、子ども・若者の貧困問題を考える
2	原発と放射能問題を考える	原発・放射能汚染から子どもを守るために	5	平和問題を考える	平和な未来を子どもたちに引き継ごう
3	消費税増税と社会保障問題を考える	消費税増税はこの国の社会保障・暮らしをどう変えてしまうか	6	消費者問題を考える	消費者被害の現状と対策~賢い消費者をめざして

◆午後:全体会 13:10~15:00

1. 全体会基調講演 「アベノミクスと社会構造の変化」

~男女ともに希望をもって働ける社会へ~

たけのぶみえこ

和光大学教授 **竹信三恵子** 先生



《竹信三恵子先生のプロフィール》

■1953年生まれ。東京大学文学部社会学科卒。大学卒業と同時に朝日新聞社に入社し、経済部、シンガポール特派員、学芸部デスク、朝日新聞総合研究センター主任研究員、CSテレビ「朝日ニュースター」解説委員、朝日新聞岩手担当編集委員(論説委員兼務)などを経験。ジェンダーの視点から日本の労働市場の変化を報道し続けてきた。2011年4月から和光大学に移り、働き方の変容と貧困の関係、企業としてのマスメディア論などを専門にしている。

東日本大震災から2年7ヶ月、復興は遅々として進まず、被災地では長い仮設住宅での生活がストレスとなり疲れ果て、長期に安定して働ける仕事がないと嘆いています。期待できない政治に関心がもてない中行われた参議院選挙では、アベノミクスという言葉だけが先行し自民党が大勝しましたが、私たちにはアベノミクスによる景気回復の実感はなく、その上消費税増税や高齢者の医療費窓口負担の引き上げが狙われており、不安は強まっています。また、負担は増えても賃金は上がらず、安定した生活を送れない人が増えています。特に若者や女性は非正規雇用で低賃金、長時間労働の犠牲になっています。竹信先生は「最低賃金の引き上げなど低所得の人々にしっかりお金を回すことが働いて豊かになる最低条件」と訴えます。みんなが安心して暮らし、働ける社会にするためにはどうすればいいのか、竹信先生の講演を聞いて、みんなで考え合しましょう。

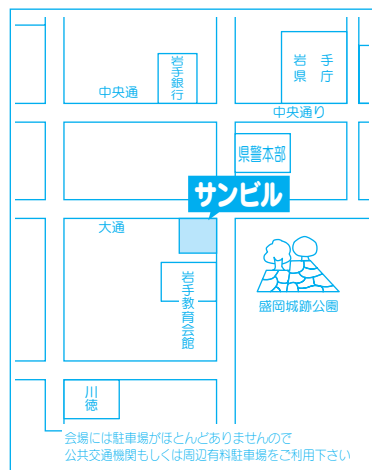
2. 「被災者生活再建支援法」の増額運動について

3. 決議提案

保育もあります (200円、5日前までに要申込)

主催 岩手県消費者大会実行委員会 後援 盛岡市
岩手県滝沢村土沢220-3 岩手県消費者団体連絡協議会内

参加申し込みは **TEL 019-684-2225**
FAX 019-684-2227



分科会紹介 10:30~12:30 会場：サンビル7階

「暮らしの問題～あなたならどうしますか？」関心のあるところに出て考え合いましょう！

第1分科会 ◆TPP問題 ～企画運営団体～ ・JA岩手県女性組織協議会 ・いわて生協 ・岩手県生活問題研究会 会場 7階 ホール	「農業だけじゃない!TPPで変わってしまう私たちの暮らし」 7月からTPP交渉に参加した日本。「聖域は守る」として参議院選挙で大勝した与党ですが、本当に聖域は守られるのでしょうか。私たちの暮らしに計り知れないほどの影響を与えるというのに、ほとんどの人はTPPの中身をよく知らないままです。TPPが与える影響を学び、私たちができることを考えていきましょう。 ◇DVD視聴「みんなでいっしょに考えようTPP」 ◇TPPが与える影響～農業、医療・保険、食の安全分野から ◇生産者より ◇意見交流
第2分科会 ◆原発と放射能問題 ～企画運営団体～ ・新日本婦人の会岩手県本部 ・岩手県母親大会連絡会 会場 7階 6号会議室	「原発・放射能汚染から子どもを守るために」 福島原発事故から2年7ヶ月たっても福島の人たちは故郷へ帰れずにいます。また、今も汚染水が海に流出しています。放射能汚染の現実を知り、できるだけ被曝しない生活をしながら、原発ゼロにするにはどうしたらいいのか考えましょう。 ◇助言者 吉田智子さん(岩手大学非常勤講師) ◇意見交流
第3分科会 ◆消費税増税と社会保障問題 ～企画運営団体～ ・岩手県労済生協 ・i女性会議岩手県本部 会場 7階 7号会議室	「消費税増税はこの国の社会保障・暮らしをどう変えてしまうか」 来年4月に予定されている消費税増税について、政府は実施の時期や上げ幅についてあいまいな姿勢をとり続けています。増税は消費税ばかりか既に昨年から今年にかけて、さまざまな増税が実施されており、来年度も実施されていきます。「社会保障と税の一体改革」と言いながら増税ばかりが先行し、暮らしの不安は増すばかりです。安心できるこれからの社会保障について学習し考え、話し合しましょう。 ◇問題提起 鈴木露通さん(岩手県社会保障推進協議会 事務局長) ◇暮らしの現場から 佐々木千工さん(消費者) ◇意見交流
第4分科会 ◆子どもや若者の貧困問題 ～企画運営団体～ ・盛岡医療生協 ・岩手県生協連 会場 7階 4号会議室	「格差社会の中で広がる、子ども・若者の貧困問題を考える」 今、子どもの6人に1人が貧困状態と言われ、さまざまな不利を背負いながら成長しても、現在の就職難や低所得の状態では貧困の連鎖から抜け出せず、潜在能力も発揮できないままです。子どもの貧困を放置することは、日本をゆっくり自滅に向かわせてしまう大きな社会問題です。「貧困」の実態を知り、解決にむけた糸口を考え合いましょう。 ◇医療現場からみえる子どもの貧困 ◇若者の低賃金、就職難、貧困の状況 ◇意見交流
第5分科会 ◆平和問題 ～企画運営団体～ ・岩手県退職女性教職員の会 ・岩手県母と女性教職員の会 ・岩手大学生協 会場 7階 3号会議室	「平和な未来を子どもたちに引き継ごう」 福島原発事故の収束に向けた見通しは立たず、今でも五感で感じるこのことのできない放射能のたたかいは続いています。平和な未来を引き継ぐために私たちにできることは、平和について学習しその運動を広めていくことです。花岡事件に関わる子どもたちの平和学習旅行や、学生たちの長崎・沖縄への平和旅行の情報提供をもとに、平和について意見交流をおこないます。あわせて、憲法に関わるミニ学習をおこない、これからの平和について共に考えましょう。 ◇意見交流 話題提供者 穴戸研さん(岩手大学生生活協同組合 専務理事) 青野大祐さん(岩手県教職員組合 岩手支部書記長) ◇ミニ学習会 豊巻浩也さん(岩手県教職員組合 中央執行委員長)
第6分科会 ◆消費者問題 ～企画運営団体～ ・消費者信用生協 ・いわて生協 ・岩手県学校生協 会場 7階 5号会議室	「消費者被害の現状と対策～賢い消費者をめざして」 近年、悪質商法は増加・悪質・巧妙化しています。特に震災後は、義援金詐欺や便乗商法など手口を変えた悪質商法が横行しています。ミニ講演では悪質商法の事例を紹介し、悪質商法撃退法や、被害に遭ったときの対処方法などをわかりやすく解説いただきます。自分の身は自分が守るのだという意識を持ち、正しい知識と行動を身につけましょう。後半は、消費者団体訴訟制度について、どういった場合に差止請求が行われるのか、適格消費者団体の取組などを学習して理解を深めましょう。 ◇ミニ講演「悪質商法の現状と対処法」 菊池と志和さん(盛岡市消費生活センター 主査) 「消費者団体訴訟制度について」 藤澤俊樹さん(NPOいわて生活者サポートセンター 事務局長) ◇意見交流